

2. 公共交通の環境整備

【リニア推進・地域交通対策課】
【まちづくりプロジェクト推進課】

(1) 奈良県公共交通基本計画、奈良県地域公共交通網形成計画に基づく取組の推進（平成28年3月策定）

【リニア推進・地域交通対策課】

公共交通に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本方針を定めた「奈良県公共交通基本計画」や、地域全体を見渡した総合的な公共交通ネットワークの形成を図ることを目的とした「奈良県地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通により円滑な移動を享受できる持続可能な地域社会の実現を目指しています。

● 路線バス、コミュニティバス等への支援

バスによる公共交通ネットワークを維持・確保するため、市町村を跨ぐ基幹的なバス路線や、市町村等が運営するコミュニティバス等に対して支援しています。

また、奈良交通路線バスへのバス停高機能化の整備に対しても支援しており、令和3年度も引き続き支援します。



▲真美ヶ丘センターバス停



▲ユニバーサルデザインタクシー

▲エレベーターの設置
(近鉄前堀駅) ▲視覚障害者用誘導ブロック
の設置 (近鉄結崎駅)

● 外国人観光客に対する受入環境整備の取組

外国人観光客の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、ユニバーサルデザインタクシー・ジャンボタクシー等の導入に対する支援等を行います。

● 鉄道駅のバリアフリー化の推進

多くの人々が日常的に利用する鉄道駅における利便性・安全性を確保するため、鉄道事業者が実施する鉄道駅のバリアフリー化事業に対して支援しています。

《主要駅の段差解消率》

令和2年度 81.3% (52駅/64駅) 令和7年度目標 100%

※主要駅：利用者が3千人以上／日の駅及びバリアフリー基本構想の生活関連施設に位置づけられた利用者が2千人以上／日の駅

(2) 踏切道改良計画の策定

【まちづくりプロジェクト推進課】

平成29年1月に大和西大寺駅西側の4踏切道、平成30年1月に大和西大寺駅東側の4踏切道が踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道として指定を受けました。これを受け、県・市・近畿日本鉄道株式会社3者での協議を経て、令和2年度末に大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設という改良方法で合意し、踏切道改良計画を策定しました。今後も、大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設の実現に向けて、3者で協議を続けていきます。

<計画に記載した大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設事業の内容>



※新駅は別途協議。線形は確定していません。

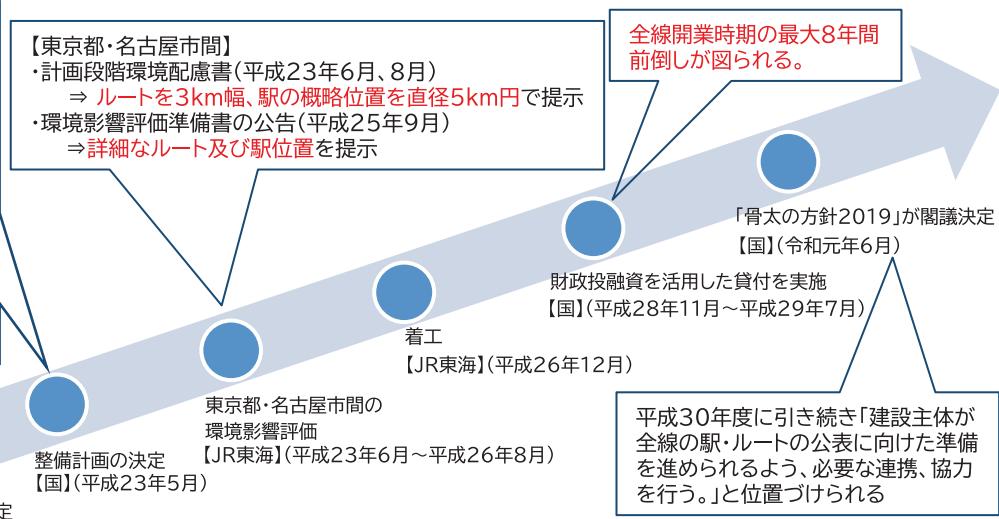
(3) リニア中央新幹線

【リニア推進・地域交通対策課】

● 三重・奈良・大阪ルートの早期実現に向けて

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近を経由し大阪市までの約438kmを、我が国独自の技術である超電導リニアにより結ぶ新たな新幹線です。

世界でも有数の人口集積地域である三大都市圏を新しいルートで結ぶリニア中央新幹線は、沿線地域のみならず我が国全体に活力をもたらし、更に国土の構造の強靭化の観点からも欠くことのできない国家的プロジェクトであり、平成23年に決定された整備計画通り、「奈良市附近」を主な経過地とした「三重・奈良・大阪ルート」の早期開業に向け、関係者一体となった取組を行っています。



● リニア中央新幹線整備の基本的な考え方

○リニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくり

「奈良市附近」の駅位置が確定すれば、駅周辺のまちづくりの具体的な検討と、周辺地区の計画的な整備を進めることができ、将来のまちづくりのための民間投資を前倒しして呼び込むことができます。

○災害に強い国土づくりに向けた三重・奈良・大阪ルートによるリダンダンシーの確保

名古屋・大阪間は、鉄道、道路とも並行した形態で供用されており、東海道新幹線との日本の大動脈の二重系化(リダンダンシーの確保)による災害に強い国土を形成することが必要です。

● 早期開業の機運醸成に向けた要望活動・広報活動

法に基づく整備計画通り、「奈良市附近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定、そのための名古屋・大阪間の環境影響評価の早期着手等に向け、三重県・大阪府の行政や経済団体等と連携しながら、国・JR東海等関係機関に対する要望活動、建設促進に向けた広報啓発を行っていきます。